



千葉県の脱炭素化支援について

千葉県中小事業者等脱炭素化支援センター

〈環境研究センター公開講座〉

2025年12月19日

千葉県環境生活部温暖化対策推進課

- **01 脱炭素化支援センターの概要**
 - ・ 事業の趣旨
 - ・ 事業の背景
- **02 脱炭素化支援センターの利用方法**
 - ・ 支援センターの体制
 - ・ 昨年度の利用実績
 - ・ 相談事例
 - ・ 利用方法
- **03 セミナー等の開催状況について**

脱炭素化支援センターの概要

千葉県中小事業者等脱炭素化支援センターができること

中小事業者等における脱炭素化に向けた

- ① アドバイスやエネルギーコスト削減の提案
 - ② 各種補助金の案内
 - ③ セミナーやワークショップを通じた普及啓発
- など、

専門家による伴走型の相談支援を無料で実施します！

今年で2年目です！



千葉県の中小企業からいただく声



脱炭素ってよく聞くけど、
うちはまだ関係ないよね？

一方で、周りの中小企業は取り組んでいます

- ✓ 約7割が「脱炭素に関する取組」を実施
- ✓ 4社に1社が「エネルギー使用量・温室効果ガス排出量の把握・算定」を実施
- ✓ 4社に1社が「取引先から温室効果ガス排出量の把握・算定などの要請を受けている」

脱炭素に向けた取組の有無が、取引上の競争力に直結
＝ 中小企業の経営戦略にとっても重要な課題

中小事業者等における課題

脱炭素に取り組むハードルについて、
約 6 割の企業が
「マンパワー・ノウハウが不足」と回答

「千葉県中小事業者等脱炭素化支援センター」
をご活用ください！

脱炭素化支援センターの利用方法

こんな相談員がお待ちしています

さまざまな業種、施設に対する豊富な支援実績がある

「エネルギー管理士＝エネルギー使用合理化のプロ」

「中小企業診断士＝中小企業経営サポートのプロ」

等が対応します！

令和 6 年度に初めて開設し、多くの皆さまにご利用いただきました

事業者数

87

事業者

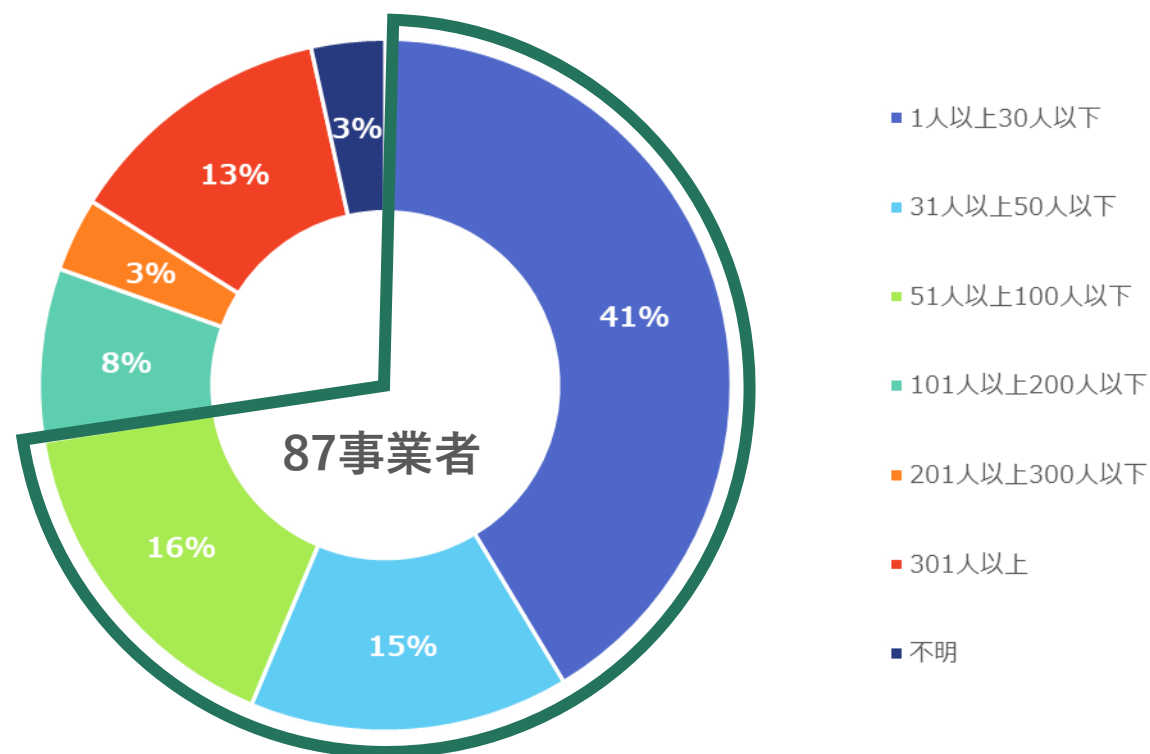
相談件数

160

件

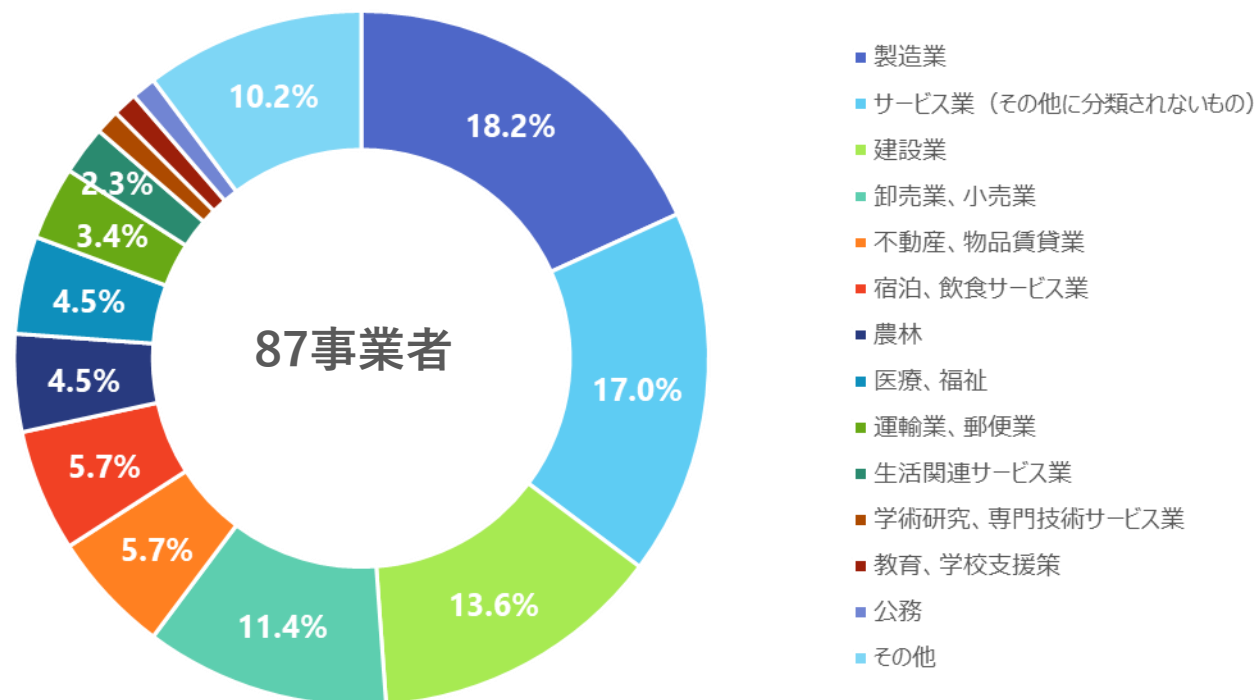
利用者の7割は、従業員数100人以下の企業

従業員数別割合



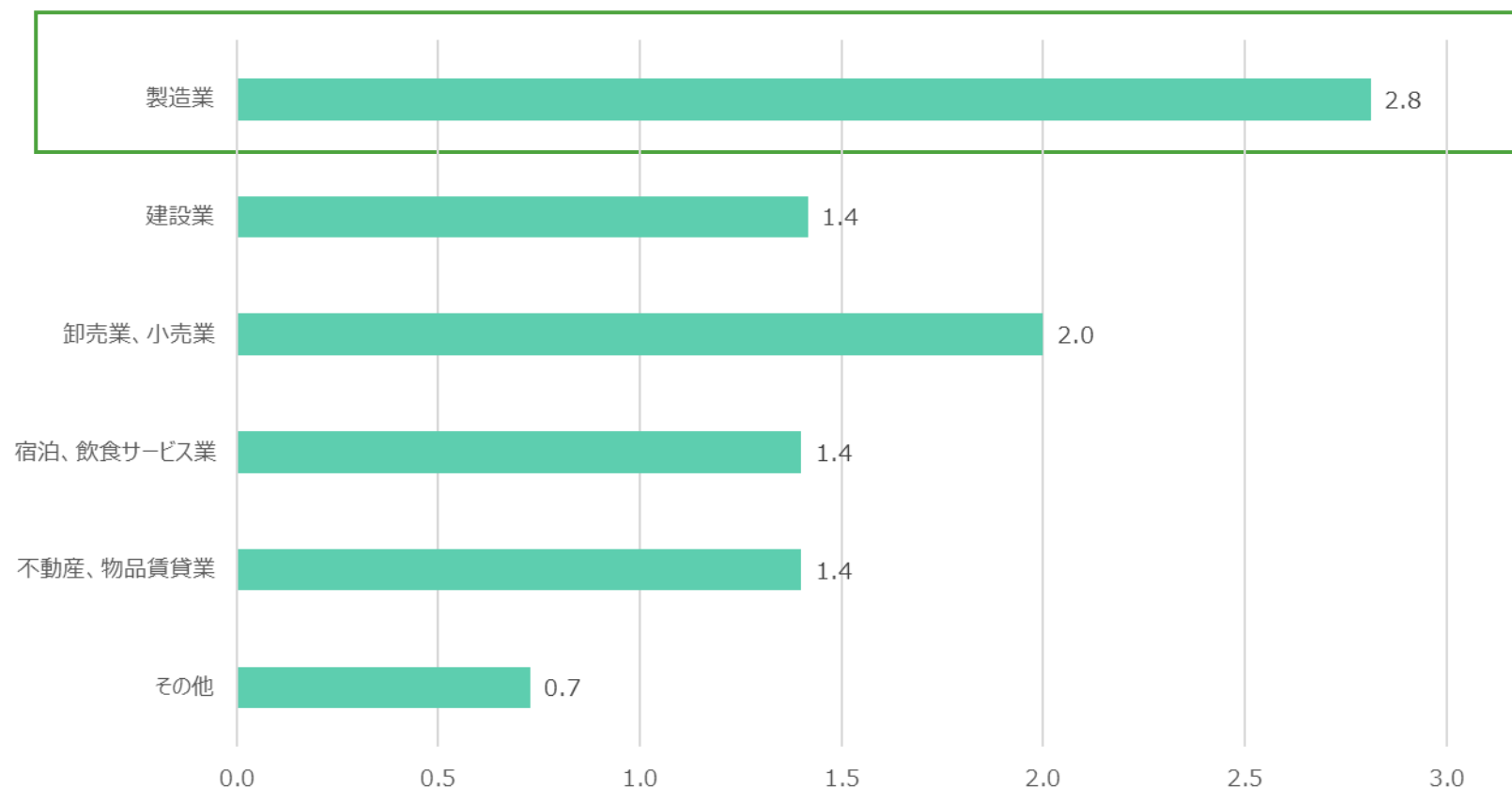
多様な業種の相談を受け付けました

業種別割合



特に、保有設備数の多い製造業に複数回ご利用いただきました

業種別平均相談累計回数（上位5業種）

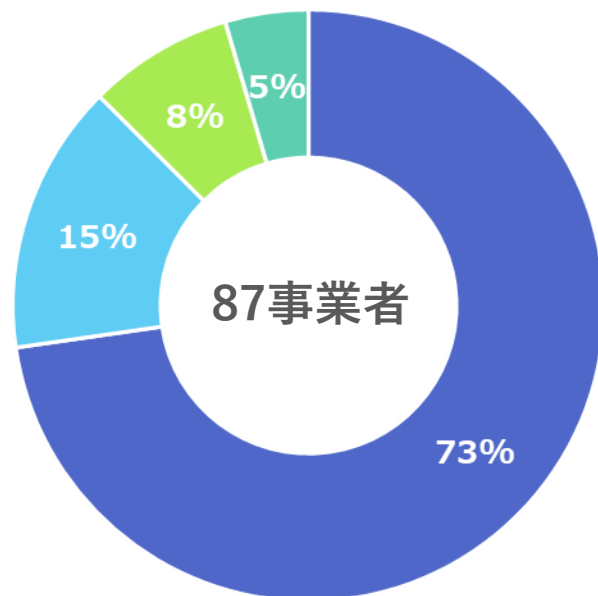


利用者にご好評いただいた点

- 事業所や工場で実際に設備を見てもらい、
専門家の知見にもとづくアドバイスを受けることができた。
- 設備を導入した際の投資対効果や更新効果の試算が得られた。
- 電気代等の資料をもとに、現状分析をしてもらえた。
- 投資による省エネだけではなく、自社の経営状況に寄り添った
運用改善のアドバイスがあった。
- 面談をつうじて脱炭素に取り組む意義を理解することができ、
排出量算定に取り組む決意ができた。

いただいた相談の7割が「補助金活用」に関すること

相談内容の内訳



■ 補助金 ■ 脱炭素化 ■ 省エネ ■ PR

1. 補助金を活用したい

- ・使える補助金がないか？ 要件を満たしているか？
- ・具体的な申請手順を教えてほしい。

2. 脱炭素化や省エネの取り組み方について知りたい

- ・意識改革（経営層の理解、従業員への教育等）
- ・運用改善（日常活動の行動変容、お金を掛けずに脱炭素）
- ・設備更新または設備導入（設備投資）

3. 脱炭素化の取組を対外的にPRしたい

- ・CO2CO2スマート宣言
- ・SDGsパートナー登録
- ・排出量算定、公表

←今年度、
ご相談が増えています！

いただいた相談の一例

- ☑ 脱炭素経営について知りたい
- ☑ エネルギーコストが上がって困っているので、何か対策できない？
- ☑ 工場を見て省エネのポイントを教えてほしい
- ☑ 設備更新に使える補助金はある？
- ☑ 温室効果ガスの排出量を把握したい
- ☑ 自社の取組をアピールする方法を知りたい

その他、脱炭素全般の相談が可能です。

事例 1 省エネ手法やエネルギーコスト削減のご提案

相談者

金属加工業
従業員10名前後

相談概要

設備から発せられる熱で**工場がとても暑く、温度を下げたいがコストが不安。**
電気代が高騰しているため、電気代を抑える方法も知りたい。

ご提案内容

サーモグラフィで工場各部の温度を計測し、熱がこもる箇所を特定。対策として、効果的な空調設置場所や遮熱塗料の塗布を提案。
1日の電力使用量の推移を確認し、ピーク電力カットによる電気代削減の手法を提案。

職場環境悪化に対し、どのような打ち手が効果的かわからず相談しました。

相談員が「サーモグラフィ」で工場内をくまなく調査してくれたことに驚きました。

電気代や対策に要するコストに不安を感じていましたが、当社の状況に合わせた複数の提案をもらえて非常に満足しています！



今年度、「当社の工場も調査してアドバイスしてほしい！」というご相談をいただいています。

事例 2

取引先との関係強化を見据えた脱炭素経営のご支援

相談者

製造業
従業員30名前後

相談概要

将来的に取引先から温室効果ガス排出量の削減要請が来る可能性が高いと考えており、現状の排出量を算定したい

ご支援内容

温室効果ガス排出量削減に対する世の中の流れをふまえ、温室効果ガス排出量算定方法について助言。複数回の相談や訪問により、排出量算定の取組をはじめ、活動の評価方法や脱炭素経営の方向性の検討をご支援。

温室効果ガス排出量算定の必要性は感じていたものの、やり方がわからず困っていました。

相談員の丁寧な説明により理解が進み、自社のScope1.2を算定することができました。活動の成果を図る指標についても「**当社のビジネスモデルに合わせて**」考えてもらえました。

今後は削減計画の策定にチャレンジしたいと思い、引き続き相談員に相談しながら進める予定です。



今年度、「当社も取引先との関係強化を見据え、排出量算定に取り組みたい！」というご相談をいただいています。

その他の事例は、ホームページに掲載しています
<https://chiba-datsutanso.pref.chiba.lg.jp>



対象者

千葉県内に事業所をもつ企業・団体・個人事業主等

相談方法

窓口への来所、Web面談、メール、電話、訪問
※すべて無料

相談時間

1回あたり90分程度
(回数の制限なし)

開設期間

2025年5月7日(水)から
2026年3月31日(火)まで

受付時間

平日9時～12時、13時～17時
* 土日祝日・年末年始(12月29日～1月3日)を除く

場所

千葉市美浜区中瀬1-10-2
ちばぎん幕張ビル

アクセス

JR「海浜幕張駅」より徒歩10分
東関東自動車道「湾岸千葉IC」
より車で5分



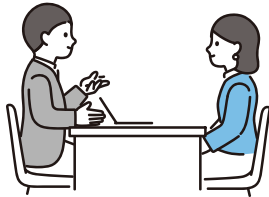


申込

専用ウェブサイトより事前にお申込み。

【URL】

<https://chiba-datsutanso.pref.chiba.lg.jp>



ご相談

来所、Web面談、電話、メール、訪問により、専門家が利用者の取組の状況や設備の現状を確認します。



伴走支援

利用者の現状をふまえ、取組の提案や支援策の案内を行い、脱炭素化への取組を継続してサポートします。

*** 昨年度は、9割の利用者が複数回利用しました！**

セミナー等の開催状況について

開催済

開催済



千葉県
chiba prefecture



ちば
脱炭素
セミナー

～ゼロからはじめる脱炭素経営～

脱炭素の基本から、
先進企業の取組事例、
支援制度まで、わかりやすく解説します！

2025 年
7月10日 ④木
14:00 - 15:50
(13:30受付開始)

＼こんな方におすすめ／

脱炭素に関心はあるが、まだ取り組めていない方
取引先からの環境対応の要請に備えたい方
補助金を活用して設備更新を考えている方
省エネ・コスト削減に興味のある経営者・担当者

セミナーピックアップ

- ✓ 脱炭素とは？なぜ今、中小企業にも必要なのか
- ✓ 先進的に取り組む企業の事例紹介
- ✓ 活用しやすい補助金・支援制度の紹介
- ✓ まずは相談！脱炭素経営の第一歩（個別相談会）

プログラム

基調講演
脱炭素経営に取り組む意義

環境省 地球環境局
地球温暖化対策課
脱炭素ビジネス推進室



第一部
取組企業の事例

株式会社大川印刷
代表取締役社長

大川 哲郎 氏



第二部
取組企業の事例

株式会社紀文食品
執行役員 生産支援推進
室長 兼 技術部長
田中 真澄 氏

すこやかなおいしい日本から



第三部
千葉県の支援策について

業務用設備等脱炭素化
促進事業等補助金事務局
千葉県中小事業者等
脱炭素化支援センター



開催済

選ばれる企業になる。 中小企業向け「脱炭素スクール」 開講します!



企業価値を高める「脱炭素経営」の第一歩、
一緒に踏み出してみませんか?

このスクールをつうじて得られること

- ✓ 脱炭素に向けた自社のロードマップ
- ✓ 温室効果ガス排出量の算定方法
- ✓ 取引先、消費者、求職者へのPR方法
- ✓ 専門家による伴走型サポート
- ✓ 参加無料。全4回でステップアップ!

プログラム

第1回	知る	<ul style="list-style-type: none">・ 脱炭素経営に取り組む意義・ 先進企業の事例を学ぶ(常磐植物化学研究所)
第2回	測る	<ul style="list-style-type: none">・ 温室効果ガス排出量算定・ 削減ターゲットの検討・ 省エネ・再エネ等の手法
第3回	減らす	<ul style="list-style-type: none">・ 削減計画策定の考え方・ ロードマップ策定
第4回	使う	<ul style="list-style-type: none">・ 計画発表会・ ブランディングとPRを学ぶ(ノウハウバンク)・ 閉講式